



UCIA ニュース

発行 宇治市国際交流協会

事務局 〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書広報課内
電話 0774-22-3141 (内線2058) FAX 20-8776
Eメール hishokohoka@city.uji-kyoto.jp

第 92 号

令和4年(2022年)7月

や ま も と た だ し

山本正新会長へ

令和4年度宇治市国際交流協会総会を4月24日(日)に宇治市生涯学習センターにて開催しました。
まず、総会を始めるにあたり、昨年8月にご逝去されました当協会元会長 上林春松様の功労を偲び黙
祷を捧げました。

そして総会では新会長就任が決定し、続いて令和3年度事業報告・決算、令和4年度事業計画・予算
を議決しました。

また、9年間の長きにわたり会長としてご尽力いただきました久保田勇氏から退任のご挨拶をいただ
き、新会長の山本正氏から新任のご挨拶をいただきました。久保田勇氏につきましては名誉会員として
引き続き当協会にご協力いただきます。

さらに来賓として、名誉会長の松村淳子 宇治市長、名誉副会長の堀明人 宇治市議会議長からご挨拶
いただきました。



右から 松村淳子 名誉会長(宇治市長)
山本 正 新会長
久保田勇 前会長
堀 明人 名誉副会長(宇治市議会議長)

会長への就任にあたり

宇治市国際交流協会 会長 山 本 正

この度、会長に就任しました山本正でございます。久保田前会長には9年間にわたりご尽力をいただき感謝申し上げます。

当協会では、設立以来、友好都市とのスポーツや教育、文化活動などの幅広い分野において、市民を中心として、積極的な交流を行ってきました。

今では世界中から学習や仕事を求めて日本（宇治）に来て住むという外国の方が増えてきています。その為、異文化への相互理解や、外国人住民へのコミュニケーション支援、生活支援、社会参画支援など、誰もが暮らしやすい社会を実現するため、当協会の果たすべき役割はますます重要になってくるものと考えております。さらに、今日的課題として宇治市と協定を結びました「災害時等における外国人支援」につきましても取り組んで参ります。

私も今までの経験を生かし、全力で取り組んでいきたいと考えております。

市民の皆様には当協会の運営と各種事業への積極的なご参加をいただき、宇治市の国際交流並びに多文化共生社会の推進、実現にご支援を賜りますようお願い申し上げます。



市民による国際交流で平和な世界を

名誉会員（前宇治市国際交流協会会長）
久保田 勇



国際平和年の昭和61年、宇治市はヌワラエリア市、咸陽市と友好都市盟約を結ばれ、翌62年に国際親善協会が発足。その後、カムループス市も友好都市に加わり、市民訪問団、スポーツ・文化団体等の相互訪問により交流が深められてきました。当初は友好都市との交流が主でありましたが、国際交流講演会、文化・音楽・料理等での交流、市民への語学講座も、英語に加え中国語・韓国語・スペイン語等に広がりました。

一方、宇治市に在住される外国人の方々も韓国・中国・ベトナム・フィリピン等60カ国3000人を超える状況になり、異文化交流、多文化共生の必要性が増しています。本協会も、やさしい日本語のボランティアや外国人への

日本語教室等を実施し、昨年は協会の名称変更や災害時の外国人支援に関する防災協定を宇治市と結びました。

今、国際情勢はロシアによるウクライナ侵略戦争、北朝鮮の脅威、中国・韓国との関係悪化など、懸念される状況ですが、このような時こそ、外交だけでなく、市民による親善・交流が強く求められます。

私は会長を退任させて戴きますが、新しい体制で、国際平和・多文化共生の先導的役割を果たせるように会員の皆様の大きなお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

令和3年度 【事業報告】

1.啓発・研修事業

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①国際交流講演会	4月24日	新型コロナウイルス感染症拡大防止措置をとりながら、国際理解推進を図るため、会員及び市民を対象に、講演会「コーヒー豆を通して世界を知る～コロンビアの国とフェアトレード」を開催。	生涯学習センター
②協会ニュースの発行	年2回(7月、1月)	各400部を発行し、各会員や友好都市関係団体などに配布した。	
③ホームページ管理運営	適宜更新	10月にホームページをリニューアルし、各種講座案内やお知らせ、事業報告等を適宜掲載。	
④語学講座	10月27日～12月22日	会員や市民を対象に語学講座を実施した(全8回)。ベトナム語講座は今年度よりの新講座。受講生:ベトナム語8名、初歩のスペイン語7名	生涯学習センター
⑤ボランティア養成講座	10月16日～12月4日	市内在住の外国人に日本語を教えるボランティアの養成講座を開催(全8回)。受講生:22名	総合福祉会館
⑥日本語教室	通年	当協会主催の教室を令和3年1月より開講し、毎週土曜日の午後に実施。	
⑦日本語講座	通年	スピークサロンが実施している市内在住の外国人を対象にした日本語教室に協力。	
⑧中国帰国者向け日本語基礎講座	通年	中国帰国者を対象にしている日本語教室に協力し語学力の向上と友好を深める(宇治ロータリークラブ・朋友館)。	大久保青少年センター
⑨市民啓発・国際理解交流	①12月13日～17日 ②2月19日	①咸陽市友好都市盟約締結35周年友好交流展開催に協力。 ②宇治まなびんぐフェスタ2022に参加	

2.交流推進事業

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①友好都市からの訪問団の受入など		毎年5月に来訪していたカナダ、カムループス市、トンブソン・リバーズ大学学生の訪問は、本年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で中止。	
②友好都市への訪問団の派遣など		カナダの友好都市カムループス市友好都市盟約締結30周年記念事業として市民訪問団募集の予定であったが本年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で中止。令和3年7月1日に両市市長のオンライン会談を当協会理事の通訳で開催。	宇治市役所庁舎7階

3.その他の事業

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①滞日外国人に対する防災対策	適宜	10月26日に宇治市と「災害時における外国人支援に関する協定」を締結。京都府、京都府国際センター共催の災害時外国人支援ワーキング会議等、宇治市に居住もしくは観光される外国人に対する防災対策に関する会議に出席。	
②各種国際交流・国際理解事業の支援	通年	協会加盟団体等が実施する国際交流・理解事業に補助金を交付して支援	
③関係団体との連携・協力	通年	関係団体主催事業への参加、協力、後援	
④府・他市町村との連携	通年	広報誌などを通じての情報交換、連携	
⑤(公財)京都府国際センターとの連携	適宜	(公財)京都府国際センターへの評議員派遣、国際交流団体等との連携を促進	

令和3年度 【決算報告】

収入の部

項目	当初予算額	収入済額	差引増減	説明
1.会費	405,000	464,000	59,000	1 個人会員 112人 224,000 2 団体会員 16団体 80,000 3 法人会員 16団体 160,000
2.補助金	1,900,000	900,000	-1,000,000	1 協会事業補助 900,000 2 公式市民訪問団派遣補助(執行されず) -1,000,000
3.負担金	122,000	97,000	-25,000	1 語学講座参加者負担金 91,000 (@7,000×8人、@5,000×7人) 2 日本語ボランティア講座参加者負担金 6,000 (@2,000×3人)
4.繰入金	0	0	0	1 周年記念事業繰入金 0
5.繰越金	6,156	0	-6,156	1 前年度繰越金 0
6.雑入	844	27	-817	1 預金利息 27 2 寄附 0 3 その他 0
合計	2,434,000	1,461,027	-972,973	

支出の部

項目	当初予算額	支出済額	差引増減	説明
1.会議費	60,000	59,751	-249	1 総会・理事会・運営部会 59,751
2.事務費	190,000	95,330	-94,670	1 事務消耗品 29,880 2 印刷代 65,450
3.事業費	2,175,000	1,115,781	-1,059,219	1 国際交流講演会 30,444 2 会報発行 121,697 3 ホームページ管理運営 341,637 4 語学講座 230,090 5 日本語基礎講座 192,183 6 日本語ボランティア養成講座 94,839 7 友好都市訪問事業 0 8 友好都市歓迎事業 0 9 海外友好交流推進事業 0 10 提携事業 90,000 11 防災対策事業 0 12 周年記念事業 0 13 市民啓発・国際理解交流 14,891 14 小会議 0
4.諸支出金	7,000	0	-7,000	1 構成団体会議出席負担金等 0 2 交流活動事業積立金 0
5.予備費	2,000	0	-2,000	
合計	2,434,000	1,270,862	-1,163,138	

* 収入済額 1,461,027 - 支出済額 1,270,862 = 190,165 円は、
宇治市に返還します。

令和4年度 【事業計画】

1.啓発・研修事業

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①国際交流講演会	4月	国際理解推進を図るため、会員及び市民を対象に講演会を開催する。	生涯学習センター
②協会ニュースの発行	年3回	各400部を発行し、各会員や友好都市関係団体などに配布する。	
③ホームページ管理運営	適宜更新	ホームページに各種講座案内、お知らせ、事業報告等を掲載する。	
④語学講座	11月～12月	会員や市民を対象に語学講座を実施する。全8回(ベトナム語講座、スペイン語講座)	生涯学習センター
⑤ボランティア養成講座	10月～12月	市内在住の外国人に日本語を教えるボランティアの養成講座の開催。	総合福祉会館
⑥日本語教室	通年	当協会主催で市内在住の外国人を対象にした教室を毎週土曜日に開催する。	総合福祉会館
⑦日本語講座	通年	市内在住の外国人を対象にした日本語講座を開催するスピークサロンに協力。	
⑧中国帰国者向け日本語基礎講座	通年	中国帰国者を対象に日本語基礎講座を開催し語学力の向上と友好を深める。(宇治ロータリークラブ・朋友館共催)	大久保青少年センター
⑨市民啓発・国際理解交流	適宜	市民を対象に国際理解、交流を目的とした講座を開催する。	

2.交流推進事業

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①友好都市からの訪問団の受入など	調整中	カムループス市からトンプソンリバーズ大学研修生を受入。	
②友好都市への訪問団の派遣など	調整中	友好都市への公式訪問団を派遣。	
③来訪者歓迎・海外友好交流促進	適宜	外国都市からの来訪者の歓迎、友好都市をはじめ海外都市との友好交流促進。	

3.その他の事業

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①滞日外国人に対する防災対策	適宜	宇治市に居住もしくは観光される外国人に対する防災対策の取り組み。	
②各種国際交流・国際理解事業の支援	通年	協会加盟団体等が実施する国際交流・理解事業に補助金を交付して支援。	
③関係団体との連携・協力	通年	関係団体主催事業への参加、協力、後援。	
④府・他市町村との連携	通年	広報誌などを通じての情報交換、連携。	
⑤(公財)京都府国際センターとの連携	適宜	(公財)京都府国際センターへの評議員派遣、国際交流団体等との連携を促進。	

令和4年度 【 予 算 】

収入の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	説明
1.会費	440,000	405,000	35,000	1 個人会員 @2,000×100人 200,000 2 団体会員 @5,000×16団体 80,000 3 法人会員 @10,000×16団体 160,000
2.補助金	1,900,000	1,900,000	0	1 協会事業補助 900,000 2 市民訪問団派遣補助金 1,000,000
3.負担金	122,000	122,000	0	1 語学講座参加者負担金 114,000 2 日本語ボランティア講座参加者負担金 8,000
4.繰入金	247,000	0	247,000	1 設立記念事業積立金より 0 2 交流活動事業積立金より 247,000
5.繰越金	0	6,156	-6,156	1 前年度繰越金 0
6.雑入	0	844	-844	1 預金利息等 0
合計	2,709,000	2,434,000	275,000	

支出の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	説明
1.会議費	60,000	60,000	0	1 総会会場・通信等 60,000
2.事務費	120,000	190,000	-70,000	1 消耗品代 30,000 2 印刷代 90,000
3.事業費	2,520,000	2,175,000	345,000	1 国際交流講演会 40,000 2 協会ニュース発行 180,000 3 ホームページ管理運営 100,000 4 語学講座(ベトナム語、スペイン語) 250,000 5 日本語基礎講座 400,000 6 ボランティア養成講座 300,000 7 友好都市歓迎事業 50,000 8 海外友好交流推進事業 10,000 9 提携事業 120,000 10 防災対策事業 30,000 11 市民啓発・国際理解交流 40,000 12 友好都市訪問事業 1,000,000
4.諸支出金	7,000	7,000	0	1 構成団体会議出席負担金等 7,000
5.予備費	2,000	2,000	0	1 予備費 2,000
合計	2,709,000	2,434,000	275,000	

国際交流講演会



今年度も総会に先立ち国際交流講演会が開催されました。今回は公益財団法人京都府国際センター事業課長の近藤徳明さんを講師に迎えて、『京都府における外国人住民の現状と京都府国際センターの取り組み』と題してお話をいただきました。

まず、京都府と宇治市に住む外国人の現状についてのおおまかな説明がありました。

京都府在住の外国人の数は多い順に永住者、留学生、技能実習生ですが、令和2年よりコロナウイルス感染症の世界的流行に対する各国の措置の為、京都府在住者の人数も減りました。宇治市に在住の外国人を国籍別でみると人数の多い順に韓国、中国、ベトナム、フィリピンと

なり、最近増えてきているのはネパールよりの住民だそうです。また、京都府における外国人住民の分布は広域散在型で、京都府下の市町村別でみると、人口に対する外国人住民比率は久御山町が最も多く4.9%、宇治田原町や井手町ではここ2年余りで3%を超えてきています。宇治市は1.7%と人口の割に外国人住民が多いのは大学があり留学生が増えてきていることも考えられます。また、宇治市には韓国や中国よりの特別永住者が多いことが特徴といえます。特別永住者の子どもたちは国籍を選ぶことができますが、日本の国籍を選べば外国人住民としての人数は減るということです。

次に外国人住民の日本語学習の現状について説明がありました。ドイツ、フランス、カナダなどでは移民や難民に対して公的な言語学習制度を機能させていますが、日本では公的な学習制度ではなく、民間団体、企業、ボランティアが主要な役割を担っているのが現状だということです。京都府国際センターでは日本語支援ボランティアの研修会や養成講座などで府内各地域の教室の支援を行っており、日本語学習の支援体制を整えるために「京都府地域日本語教室ネットワーク会議」を開いて教室運営の課題解決の方策について情報交換する場をつくり、ボランティア同士の交流を促進するという取り組みをされています。当協会もこの会議に出席して日本各地や京都府の日本語教育の現状について学んでいます。

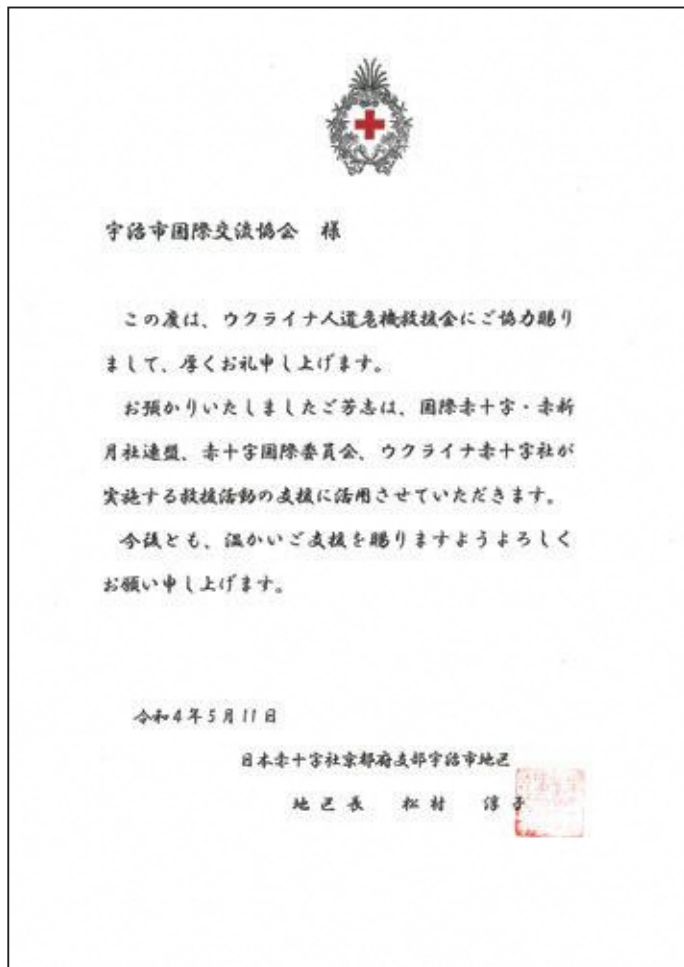
次に外国につながりをもつ子どもの教育についての現状の説明がありました。京都府内には442人の外国につながりをもつ子ども達がありますが、その25%にのぼる113人に日本語の支援がないということです。生活言語の習得には1～2年ほどですが、学習言語（教科で使う専門的な用語：例；鋭角、鈍角など）の習得には5～7年もかかるといわれています。その学習言語の習得を教科学習と並行して進めることは子どもたちにとって大きな負担になります。また、中学生の年齢で在住外国人の家族として日本で暮らし始めても高校受験を目指せない子ども達もいます。京都府国際センターでは、そのような子どもたちに対する学習支援を行う団体へも、オンラインによる日本語や教科学習に関わる様々な支援を行っています。将来、日本では社会保障費を負担している世代の人口が減ることが問題だといわれており、これからの日本社会を担う可能性のある外国人の子ども達への教育支援は重要だといえます。

最後に災害時における外国人支援について。近藤さんは平成28年の熊本地震の際に現地で災害多言語支援センターの運営に従事されました。そこで外国人被災者に聞き取りをされた際に、外国人は日本で生活するうえで平時でも「制度」、「ことば」、「文化（こころ）」について少なからず壁があるように感じているということです。災害時にはその壁がさらに高くなることを実感されました。また、支援センターの指揮を執ることになった際には外国人住民がどこに何人いるかなど、命を救うために大切な情報が現地の団体から早めに得られたということで、自治体やボランティア団体は平時から災害時に役立つデータ収集をしておいていただきたいとのことでした。

私達が現状に目を向けて外国人住民が暮らしやすい地域社会を作ることがひいては私達が暮らしやすい地域社会をつくることになるのだと感じました。

ウクライナへの「人道危機救援金」について

2月より続くロシアによる軍事侵攻に苦しむウクライナとその周辺国の支援になればと、当協会では去る4月24日に開催された総会の開始前にウクライナ国旗カラーをイメージした募金箱を用意して「人道危機救援金」を募りました。12,650円が集まりましたことを報告いたします。この救援金は全額、日本赤十字社を通してウクライナ赤十字社が実施する同国内や周辺国への救援活動支援に活用されます。



日本赤十字社よりの礼状

日本語支援ボランティア養成講座 各種語学講座のご案内

本年度も10月頃より日本語支援ボランティア養成講座、11月頃より各種語学講座を開催予定です。詳細が決定次第、当協会ホームページ、宇治市市政だより、各公共施設でのチラシによりお知らせいたします。皆様のご応募をお待ちしています。

当協会では皆様に安全に安心して学習していただけるように新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に対応いたします。ご理解・ご協力のほどお願いいたします。

会員募集と 会費納入のお願い

当協会の運営は皆様の会費によって成り立っています。会の運営活動を活発に行うため、皆様方の会費納入をよろしくお願いいたします。

令和4年度の会費納入がまだの方は、振込または事務局にて納入をお願いします。

併せて、会員の募集をしています。皆様方のご協力をお願いします。

年会費 個人会員 2,000円
団体会員 5,000円
法人会員 10,000円

【振込先】

京都銀行宇治支店 普通預金 5089647
受取人「宇治市国際交流協会」

雑観雑感

2020年度から発足した宇治市国際交流協会による日本語教室に関わって約2年になりました。当初はこのコロナ禍で外国人の入国が禁止されているために、生徒が集まるかどうかの心配がありました。発足当時の入会学習者は総数で11名、現在の在籍は今年一月からの新規入会者4名を含めて8名となっています。入国規制も緩和されつつあるので、以降も増えることでしょう。

一昨年と昨年度日本語ボランティア養成講座を卒業した新人4名とベテランの総勢11名のスタッフで運営しています。

学習者は技能実習生や、日本人配偶者の家族として来日して日本に十年以上住んでいるがより日本語の上達を希望されている方など、状況は様々ですが日本語の上達に向けて熱心に学習に取り組んでいます。その中には今、世界中の人々の心配事の一つであるロシアのウクライナ侵攻により、ウクライナ在住の肉親の安否を気にかけている学習者もいます。戦争を知らない日本人の私たちにはその不安は計り知れないものがあります。

スタッフはどうすれば学習者により理解してもらえるかを日々考えながら臨んでいます。その熱意が学習者にも伝わっているのか学習は活気のある白熱した雰囲気の中で行われています。

京都で生れ育った私は他の土地は知りませんが、世界がどんどん小さくなってきているような気がします。今流行りの言葉ダイバーシティを実感しています。(Y.O.)